中学校第２学年　ペーパーテスト調査結果の概要

ア　国語

内容別結果（正答率）

内　容	埼玉県	戸田市
Ａ話すこと	７９．７	７９．２
Ｂ書くこと	５９．１	５９．４
Ｃ読むこと	７７．６	７８．２
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	７７．８	７８．５

観点別結果（正答率）

評価の観点	埼玉県	戸田市
国語への関心・意欲・態度	61.5	60.3
話す・聞く能力	79.7	79.2
書く能力	59.1	59.4
読む能力	77.6	78.2
言語についての知識・理解・技能	77.8	78.5

○内容別結果においては、「話すこと・聞くこと」以外の項目で県の正答率を上回っている。

○観点別結果においては、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」以外の項目で県の正答率を上回って　　いる。

○特に課題の見られた問題例　６－（２）「書くこと」

戸田市正答率１８．５％（県２０．２％）

出題のねらい　文章の構成を工夫し、自分の考えを分かりやすく記述できる。

6 図書委員の関口さんは、地域の小学校で本の読み聞かせの会を行った様子を、生徒会新聞で全校生徒に伝えることになりました。次の【メモ】は記事を書くために用意したものです。この【メモ】や【新聞記事】等を読んで、あとの問いに答えなさい。

【メモ】

メモ①（日にち・場所・参加者）
・平成二十五年四月二十二日
・西小学校　多目的室
・図書委員の生徒…五名

メモ②（〈　A　〉）
・地域の小学生とつながりをもつ。
・小学生に本の楽しさを伝える。

メモ③（体験内容）
・事前…みんなで「ぐりとぐら」を読むことに決めて、練習した。
・当日…最後の場面で小学生たちが大喜びしていた。

メモ④（感想）
・「中学生になったら読み聞かせをしたい。」と言われて、うれしかった。
・今後も、読み聞かせの会が続くとよい。

(2) 関口さんは【メモ】をもとに、【新聞記事】を作成しました。次の《注意》にしたがって、メモ③の内容をあとの【新聞記事】の［　B　］に書きなさい。
（※答えは解答用紙に書くこと。）

《注意》
一　［　B　］の文章はメモ③をもとに、「今回の読み聞かせの会が決定してから、」に続けて書くこと。
二　［　B　］の文章は二文で書き、一文目には事前の体験内容、二文目には当日の体験内容を書くこと。
三　［　B　］の文章は五十字以上、六十字以内で書くこと。
四　文章は敬体（です、ます）で書くこと。

【新聞記事】

受け継がれる読み聞かせ

図書委員会では、地域の小学生に本の読み聞かせの会を定期的に行っています。今回は、今月二十二日、西小学校多目的室にて行われ、図書委員五名が参加しました。その様子を報告します。

この会は、地域の小学生とつながりをもつために、また、小学生に本の楽しさを伝えるために行っています。

今回の読み聞かせの会が決定してから、

B

10

20

読み聞かせが終わった後、ある子が、「自分も中学生になったら読み聞かせをしたい。」と話してくれて、うれしかったです。今後も、図書委員会の活動として読み聞かせの会が続くとよいと思います。

イ　社会

内容別結果（正答率）

内　容	埼玉県	戸田市
地理的分野	６９．８	７０．７
歴史的分野	３９．９	４０．８

観点別結果（正答率）

評価の観点	埼玉県	戸田市
社会的事象への関心・意欲・態度	67.3	67.7
社会的な思考･判断･表現	62.0	62.7
資料活用の技能	62.2	62.6
社会的事象についての知識・理解	49.9	51.2

○内容別結果においては、全ての項目で県の正答率を上回っている。

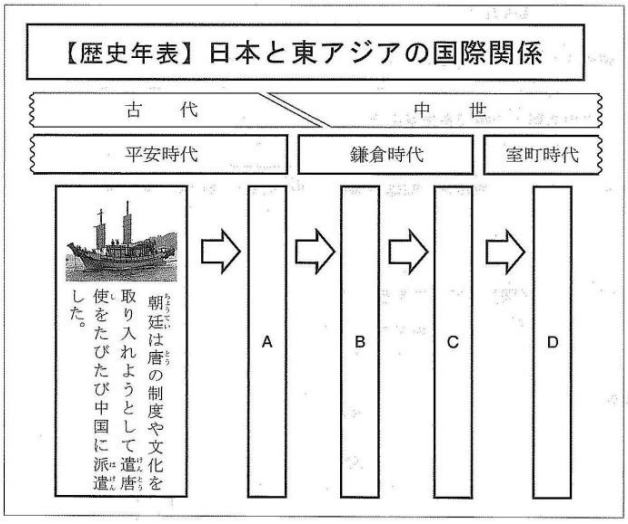
○観点別結果においては、全ての項目で県の正答率を上回っている。

○特に課題の見られた問題例　５－（３）「歴史的分野」

戸田市正答率３．０％　（県５．３％）

出題のねらい　中世の自治的な仕組みの成立を理解している。

5 彩子さんは「日本と東アジアの国際関係」を題材にして，次の歴史年表をつくりました。これをみて，あとの問いに答えなさい。



(3) 彩子さんは「日本と東アジアの国際関係」が，その後の日本に与えた影響について，次の【資料２】のようにまとめました。【資料２】中の［　　］に，共通してあてはまる語句を書きなさい。

【資料２】

各地では，都市が大きく発展し，町衆とよばれる裕福な商工業者が生まれました。特に貿易や商業などで栄えた堺や博多，京都などでは，寄合によって都市の政治が行われ，［　　］都市として成長しました。また，京都では［　　］をになった町衆の手で祇園祭が盛大に行われました。

ウ　数学

内容別結果（正答率）

内　容	埼玉県	戸田市
Ａ数と式	７０．６	６９．６
Ｂ図形	６０．８	５８．２
Ｃ関数	６８．５	６６．４
Ｄ資料の活用	５７．４	５４．９

観点別結果（正答率）

評価の観点	埼玉県	戸田市
数学への関心・意欲・態度	50.4	49.3
数学的な見方や考え方	52.8	51.9
数学的な技能	66.3	65.2
数量や図形などについての知識・理解	67.4	65.1

○内容別結果においては、全ての項目で県の正答率を下回っている。

○観点別結果においては、全ての項目で県の正答率を下回っている。

○特に課題の見られた問題例　７－（２）「資料の活用」

戸田市正答率２８．９％（県３０．４％）

出題のねらい　ヒストグラムや代表値について理解し、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。

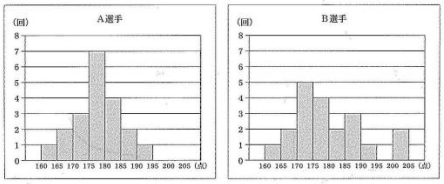
7　次の**表**と**グラフ**は，Ａ選手とＢ選手がボウリングでそれぞれ20ゲームずつ投げたときの得点結果を度数分布表とヒストグラムにまとめたものです。

このとき，次の各問いに答えなさい。

【表】

階級（点）	Ａ選手 度数（回）	Ｂ選手 度数（回）
１６０以上 ～ １６５未満	1	1
１６５ ～ １７０	2	2
１７０ ～ １７５	3	5
１７５ ～ １８０	7	□
１８０ ～ １８５	4	□
１８５ ～ １９０	2	□
１９０ ～ １９５	1	1
１９５ ～ ２００	0	0
２００ ～ ２０５	0	2
計	２０	２０

【グラフ】



(2)　**表**および**グラフ**からわかることについて，次の**1**～**4**の中から**適切なもの**を１つ選び，その番号を書きなさい。

1　得点の最大値は，Ａ選手のほうが大きいことがわかる。

2　Ｂ選手の最頻値（モード）は，167.5点であることがわかる。

3　Ａ選手とＢ選手の得点の中央値（メジアン）は同じ階級にあることがわかる。

4　Ｂ選手の200点以上205点未満の階級の相対度数は２であることがわかる。

エ　理科

内容別結果（正答率）

内　容	埼玉県	戸田市
第１分野	５４．５	５３．９
第２分野	５７．５	５６．８

観点別結果（正答率）

評価の観点	埼玉県	戸田市
自然事象への関心・意欲・態度	48.0	46.5
科学的な思考・表現	54.4	52.6
観察・実験の技能	45.0	45.0
自然事象についての知識・理解	58.8	58.0

○内容別結果においては、全ての項目で県の正答率を下回っている。

○観点別結果においては、「観察・実験の技能」以外の項目で県の正答率を下回っている。

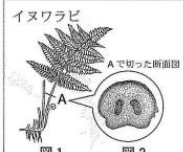
○特に課題の見られた問題例　３－（２）「第２分野」

戸田市正答率１６．３％（県２１．９％）

出題のねらい　シダ植物とコケ植物の生える場所の違いとからだのつくりの違いを関連づけてとらえている。

3 イヌワラビとゼニゴケの観察を行い，結果を表にまとめました。また，気づいたことについて図鑑やインターネットで調べました。

【観察結果】

植物名・スケッチ	生えていた場所	気づいたこと
イヌワラビ  図1　図2	○木のかげや中庭 ○日かげになるところに多く生えていたが，日当たりのよいところにも生えていた。	○葉の裏に「茶色い粒状のもの」が多数ついていた。 ○地下でつながっているようなつくりになっていた。
ゼニゴケ 図3	○校舎の北側 ○あまり日が当たらないしめったところに，地面にはりつくように広がって生えていた。	○「細い柄のようなもの」の先に「傘のようなもの」があり，その形には２つの種類があった。

【調べてわかったこと】

○イヌワラビの葉の裏に多数ついていた「茶色い粒状のもの」は，イヌワラビがなかまをふやすのに関係している。

○イヌワラビには葉，茎，根の区別があり，茎は地中にある。また，ゼニゴケには葉，茎，根の区別がない。

○図３のようなゼニゴケには雄株と雌株があり，雌株の「傘のようなもの」には，イヌワラビと同じようになかまをふやすのに関係したものがついている。

○図１のイヌワラビの葉の柄をＡで切ったところ，図２のような水や栄養分の移動に適したつくりが見られた。一方，ゼニゴケには図２のようなつくりは見られなかった。図２のつくりがあるため，イヌワラビはゼニゴケよりも日当たりのよい場所で生活することができる。

(2)　イヌワラビとゼニゴケの生えていた場所は，それぞれのからだのつくりに関係しています。【調べてわかったこと】の下線部のようなつくりとは何ですか。その名称を書きなさい。

オ　英語

内容別結果（正答率）

内　容	埼玉県	戸田市
ア聞くこと	７６．９	７９．０
ウ読むこと	７０．０	７０．９
エ書くこと	５３．１	５４．６

観点別結果（正答率）

評価の観点	埼玉県	戸田市
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	86.8	88.4
外国語表現の能力	61.0	60.9
外国語理解の能力	73.5	75.0
言語や文化についての知識・理解	54.9	56.0

○内容別結果においては、全ての項目で県の正答率を上回っている。

○観点別結果においても、「外国語表現の能力」以外の項目で県の正答率を上回っている。

○特に課題の見られた問題例　８－（１）「書くこと」

戸田市正答率１９．２％（県１５．１％）

出題のねらい　与えられた情報に応じて助動詞を正しく書くことができる。

8 タケシ（Takeshi）は，イギリスから来たジョン（John）と，映画に行く約束をしていました。しかし，母親から留守番を頼まれてしまい，映画に行くことができなくなってしまいました。そこで，タケシはジョンに電話をし，そのことを伝えようと思います。

タケシになったつもりで，次の**【伝えたい内容】**をもとにして，**【電話で話す英文】**の [(1)] ～ [(3)] に，それぞれ英語を１語ずつ入れて，下の英文を完成させなさい。

【伝えたい内容】

・映画に行くことができなくなったこと。
・母親が今日，家にいないこと。
・妹に食事を作っていること。

【電話で話す英文】

Hello.
This is Takeshi.
How are you, John?
I'm sorry.
I [(1)] go to the movie with you this afternoon.
My mother [(2)] not at home today.
My sister is five years old.
I am [(3)] lunch for her.
Goodbye.

［注］　movie：映画　　Goodbye.：さようなら。